

視点1-②  
 《中期目標》 振り返り活動をもとに、ICTを活用しながら自らの課題を解決しようとする児童生徒の育成  
 〈成果指標〉 (令和9年度の全国学力・学習状況調査の標準化得点:国語110以上 数学110以上)

《短期目標》 確かな学力を身に付け自分の思いや考えを表現し、対話を重ね高め合う児童生徒の育成  
 〈成果指標〉 (令和6年度の全国学力・学習状況調査の標準化得点:国語107 数学106 以上)

□市教委による例示 ■例示に基づいて各学校で行う取組  
 ●各学校独自の取組 ★学園で統一して行う取組

福岡県学力調査に向けて実施する個別の取組  
 ●小学校兼務教員による、個別学習指導や、授業中における支援や補助。

**視点5【家庭・関係機関との連携】**  
 1 家庭学習の充実  
 ★①家庭学習の手引等の作成・周知  
 ★①家庭学習チャレンジ10  
 2 地域の教育力を活用した取組  
 ★④「日の里カリキュラム」の実施  
 ●④大学生ボランティアへの協力依頼  
 3 家庭における生活習慣の改善  
 ★①ノーメディア週間等の取組  
 ①各学年の実態に応じた週末課題の取組

**視点2【授業づくり】**  
 1 学習活動の位置づけ  
 ★①一単位時間内に書く活動を位置付ける  
 ★②「ねらいに応じた対話活動」を位置付ける  
 ★③「わかった」「できた」を表現する振り返りを一単位時間内や単元末に行う  
 2 活動内容の具体化  
 ★①課題に対する自分の考えを書く活動の充実  
 ★②自分の考えの根拠を説明する対話活動の充実  
 ★③学びの実感を振り返る活動の充実(学びを深めるスタディ・ログ)  
 3 指導と評価の一体化等  
 ★③児童生徒による授業評価の実施  
 ★③「振り返り」の分析による授業評価

**視点4【教員の意識・指導力の向上】**  
 1 計画的な校内研修等の実施  
 ●①各分掌の取組の周知(研修) → 実施 → 評価  
 ●四分位層の把握  
 ★①年2回以上の授業公開  
 2 教員の実態に応じた校内OJT  
 ●①メンタリング・リフレクションを活用した授業訪問  
 ●①管理職による教室訪問と個別指導  
 3 教師の専門性を生かした学習指導  
 ★①小中間による兼務授業等

**視点3【学力基盤づくり】**  
 1 学習規律の徹底 ★①学びの統一 ●③生徒による振り返りの実施  
 2 学級経営の充実 ●②学び合う人間関係づくり ●②非認知的能力の育成  
 3 個に応じた指導の充実 ●①②ICTを活用した学習活動の充実 ●①ひのたんタイム(朝・帰りの学習)における県学力テストへの取組

視点1-① 県学力調査,全国学力調査及び「授業評価アンケート」、「授業チェックリスト」等から見た「課題」		授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」									
四分位層の県との差、標準化得点		国語					算数・数学				
		A層	B層	C層	D層	標準化得点	A層	B層	C層	D層	標準化得点
		R5県調査	1.2	5.6	-4.4	-2.4	103.6	2.0	3.5	-4.4	-1.1
R5全国調査	9.8	2.9	-0.7	-12.0	110.3	6.1	-5.2	7.4	-8.4	107.8	
課題	□数学のC層・D層の生徒に対して、基本的な知識・技能の習得を図る手立てを講じる必要がある。 □各教科の授業で、対話活動を通して「根拠をもって方法や理由を説明する」場面をしくむ必要がある。										
質問紙調査等	□1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか(肯定的な回答の割合:全国比-20.7%) □地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか。(全国比+10.9%)										

① 補充学習や学習習慣の定着など、基本的な知識・技能の習得に関する取組や個に応じた指導が不足していた。  
 ② 調べたことを発表するなど、それぞれの考えを出し合い思考力・判断力・表現力を発揮する活動が不足していた。  
 ③ 生徒が、自身の学習や活動の成果を適切に評価する活動が不足していた。  
 ④ 地域と関わる教育活動は、生徒の社会参画意識や自己有用感を高めることにつながる。

# 令和5～令和6年度 宗像市立日の里中学校 学力向上プランを基にした検証改善ロードマップ

